

縁JOY time

児童発達支援

支援プログラム

作成日

2025年

10月

29日

法人（事業所）理念		・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。・安心安全な環境作りに努めます。								
支援方針		文字の読み書き、身辺自立等、小学校に入学するまでに一つでもできることを増やせるよう支援します。 また、一人一人の個性を大切に楽しく通えるような環境を設定します。								
営業時間		10時	00分	から	14時	00分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	身辺自立（トイレ、衣服の着脱等） 食育を通して手洗いや食事のマナーを学ぶ								
	運動・感覚	外では公園の遊具、室内ではダンスやボール運動等を行い、筋力upや動作の向上を目指す 調理活動や制作活動、粘土遊び等で微細運動を取り入れながら、様々な形、硬さの感覚に触れる								
	認知・行動	日々の活動で時計を見せ、時間の流れや時計の見方に親しめるようにする ブロックや療育グッズを使用し色や物の大きさ、空間認知等を養う 外出や戸外活動を通して交通ルール知り安全に行動できるようにする								
	言語 コミュニケーション	あいさつや感謝の言葉を習慣づける フラッシュカード等を使用し発語を促す マカトンサイン等一人一人に合ったコミュニケーション方法を見つける								
	人間関係 社会性	外出活動を通して公共交通機関や公共施設を利用し、ルールやマナーを学ぶ 他事業所との合同活動を通して様々な人と関わりを持ち、社会性を身につける								
家族支援		保護者会の会開催 運動会や卒業イベントなど家族も参加できるイベントの開催				移行支援		児童の発達段階を把握し、保護者や関係機関等と連携を図りながら一人一人に合った就学先を提案していく。		
地域支援・地域連携		季節のイベントに近隣の方に参加・協力をしてもらい事業所の理解を深めていく。（ハロウィン等） 地域のお祭りやイベントに積極的に参加する。				職員の質の向上		外部研修、社内研修。毎日の朝ミーティングで前日の活動の振り返り、事故報告、ヒヤリハットの共有を行い、支援方法を統一している。 月1回職員ミーティングで課題解決の話し合い、ロールプレイを行う。		
主な行事等		季節のイベント（夏のプール遊び、お月見、ハロウィン、クリスマス、卒業・進級パーティー等） 外出活動（博物館、水族館、動物園等）交通安全教室								